

2020年1月

新型コロナウイルス感染症について

中央大学保健センター

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルス感染症の患者が報告されています。現在、中国国内で多数の感染者が出ています。

日本国内においても、1月16日に新型コロナウイルス感染症の患者が報告されました。中国の武漢から1月3日に帰国後、医療機関を受診し入院となりましたが、1月15日にすでに退院しているとのことでした。

新型コロナウイルスの感染経路はまだ不明です。家族間など限定的なヒトからヒトへの感染の可能性が否定できない事例が報告されていますが、現時点では持続的なヒトからヒトへの感染の明らかな証拠はありません。

野生動物を販売する市場に関連した症例が多く、動物との関連が示唆されています。呼吸器感染を呈し、発熱と咳で受診する症例が多いようです。死亡例も報告されていますが、致死率は以前発生したSARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）やMERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）ほど高くはないようです。

現在、ヒトからヒトへの感染についてははっきりしていない状況です。まずは一般的な感染予防をしっかりと行いましょう。風邪やインフルエンザが多い時期ですので、咳エチケットや手洗いを心がけるようにしましょう。

海外渡航に際しては、渡航先の情報をよく収集し、緊急時に備えて外務省が実施している「たびレジ」に必ず登録しておきましょう。渡航先では感染症の多く発生している地域へ近づかない、手洗いの励行、動物との接触を避けるなど、一般的な衛生対策を心がけましょう。コロナウイルスの患者が発生している国に滞在した後に、発熱や咳などの呼吸器症状が現れた場合には、検疫所に相談しましょう。

その他、何か心配な点があれば保健センターまでご相談下さい。

<参考 URL>

国立感染症研究所感染症疫学センター

コロナウイルスに関する解説及び中国湖北省武漢市等で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

厚生労働省

中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

厚生労働省検疫所 (FORTH)

中国における新型コロナウイルスによる肺炎の発生についての国際渡航と貿易に関する

WHO の助言

<http://www.forth.go.jp/topics/fragment5.html>